

「人権のひろば」
 に対するご意見、
 ご感想は秘書広
 報課までお寄せ
 ください。

ニュースポーツを通じて障害の

垣根を越える 身近に、楽しく

ニュースポーツとは

皆さんはカローリング、ポッチャなどの「ニュースポーツ」をご存じでしょうか。

例えば、カローリングは、氷上で行うカローリングの床本版であり、ジェットローラーを使いコートの先



地域ファミリースポーツ大会でのカローリングの様子

ジェットローラー

端にある直径90^{センチ}の的をめがけ、交互にローラーを投げながら得点を競います。またポッチャとは、的となる白いボールに、青・赤のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。このようにニュースポーツは、老若男女や障害の有無を問わず誰もが行えるものです。

障害の垣根を越える体験

市では年に5回、地域ファミリースポーツ大会を行っており、カローリングなどの体験ができます。また、3月には、障害のある人の社会参加の促進と生涯スポーツの推進をめざし、子どもから高齢者までを対象としたスポーツの祭典「ニュースポーツフェスティバル」を行っています。このイベントでは、ニュー

スポーツの紹介のほか、障害者スポーツのデモンストレーションも行われます。障害者スポーツとは、障害のある人が行えるように修正された、あるいは新たに創られたスポーツで、ニュースポーツに含まれるものもあります。

昨年度は、障害者スポーツの「車いすテニス」の体験がありました。車いすテニスは、左右の両輪をうまく操作して、すばやくボールの飛んでくる位置まで移動し、打ち返さないといけません。実際に体験してみると、車いすの操作が難しく、俊敏に動かすどころか、行きたい方向にすら行けないということがしばしば。練習を重ね、車いすの操作にも慣れてくると、ようやく打ち返せるようになりました。この体験を通し



ニュースポーツフェスティバルでの車いすテニスの様子

て、障害者スポーツの楽しさと、難しさの両面を学ぶことができました。



ポッチャボール

また、ニュースポーツには、競技性が低く、勝敗にこだわらず、誰でも楽しく行えるものも多くあります。ポッチャは、パラリンピックの正式種目ですが、ルールは簡単で、初めてでもすぐに楽しめました。自分のボールを白いボールに近づけようと、みんなが夢中になっていることに気がきました。年齢や体力に差がある人同士でも、和気あいあいと打ち解けられることもニュースポーツの醍醐味ではないでしょうか。

ニュースポーツを体験してみませんか

体を動かし、スポーツを楽しむことは、日々のストレスや疲労の発散にもなります。障害の有無にかかわらず、一生懸命に打ち込むことで、お互いの関係が深まり、理解し合えるすばらしい経験ができるはずです。

ニュースポーツフェスティバルについては、25ページに関連記事あり